

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公開番号】特開2011-41197(P2011-41197A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-189297(P2009-189297)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/91 J

G 0 6 F 12/00 5 3 3 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月7日(2012.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部装置と通信し、画像を一意に特定する識別情報に基づき、自装置の記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置に記憶されている画像との同期を行う情報処理装置であって、

前記記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置の画像との識別情報が一致し、かつ、各画像の属性を示す属性情報が異なる場合に、該各画像の属性情報がユーザ操作によって編集されたものか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の判定の結果、各画像の属性情報のうち一方の前記属性情報がユーザ操作によって編集されたものと判定された場合、該ユーザ操作によって編集された前記属性情報に、他方の前記属性情報を同期させる同期処理手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記判定手段により、前記記憶媒体に記憶した画像の前記属性情報、及び、前記外部装置の画像の前記属性情報のそれぞれがユーザ操作によって編集されたものと判定された場合に、一方の前記属性情報に他方の前記属性情報を同期させるか否かを選択可能とすることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

一方の前記属性情報に他方の前記属性情報を同期させるか否か、及び、同期させないことを選択可能とすることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記判定手段は、前記属性情報のカテゴリ毎に前記判定を行うことを特徴とする請求項

1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記属性情報は、回転情報、タグ情報、GPS情報のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

当該情報処理装置において前記属性情報がユーザ操作に基づき編集された場合に、ユーザ操作によって編集された旨を示す履歴を保持する保持手段を更に有し、

前記判定手段は、前記記憶媒体に記憶した画像の属性情報がユーザ操作によって編集されたものか否かを、前記履歴に基づき判定することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記外部装置に記憶されている画像の属性情報がユーザ操作に基づき編集された旨を示す外部編集履歴を、前記外部装置から受信する受信手段を更に有し、

前記判定手段は、前記外部装置の画像の属性情報がユーザ操作によって編集されたものか否かを、前記外部編集履歴に基づき判定することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項8】

外部装置と通信し、画像を一意に特定する識別情報に基づき、自装置の記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置に記憶されている画像との同期を行う情報処理装置と通信し、前記情報処理装置の要求に応じて、記憶している画像と前記情報処理装置に記憶されている画像との同期がされ得る撮像装置であって、

前記情報処理装置が同期を行う際に用いる画像の属性を示す属性情報がユーザ操作に基づき編集された場合に、ユーザ操作によって編集された旨を示す履歴を保持し、前記情報処理装置の要求に応じて、前記履歴を前記属性情報とともに送信することを特徴とする撮像装置。

【請求項9】

外部装置と通信し、画像を一意に特定する識別情報に基づき、自装置の記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置に記憶されている画像との同期を行う情報処理装置の制御方法であって、

前記記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置の画像との識別情報が一致し、かつ、各画像の属性を示す属性情報が異なる場合に、該各画像の属性情報がユーザ操作によって編集されたものか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップの判定の結果、各画像の属性情報のうち一方の前記属性情報がユーザ操作によって編集されたものと判定された場合、該ユーザ操作によって編集された前記属性情報に、他方の前記属性情報を同期させる同期処理ステップと、を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項10】

外部装置と通信し、画像を一意に特定する識別情報に基づき、自装置の記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置に記憶されている画像との同期を行う情報処理装置と通信し、前記情報処理装置の要求に応じて、記憶している画像と前記情報処理装置に記憶されている画像との同期がされ得る撮像装置の制御方法であって、

前記情報処理装置が同期を行う際に用いる画像の属性を示す属性情報がユーザ操作に基づき編集された場合に、ユーザ操作によって編集された旨を示す履歴を保持するステップと、

前記情報処理装置の要求に応じて、前記履歴を前記属性情報とともに送信するステップと、を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項11】

コンピュータを、請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項12】

コンピュータを、請求項 8 に記載の撮像装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の情報処理装置は、外部装置と通信し、画像を一意に特定する識別情報に基づき、自装置の記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置に記憶されている画像との同期を行う情報処理装置であって、前記記憶媒体に記憶した画像と前記外部装置の画像との識別情報が一致し、かつ、各画像の属性を示す属性情報が異なる場合に、該各画像の属性情報がユーザ操作によって編集されたものか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定の結果、各画像の属性情報のうち一方の前記属性情報がユーザ操作によって編集されたものと判定された場合、該ユーザ操作によって編集された前記属性情報に、他方の前記属性情報を同期させる同期処理手段と、を有することを特徴とする。